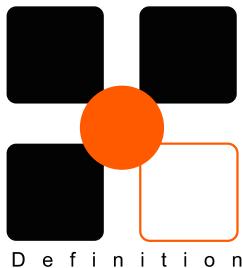


**ICON**  
pro audio



**DT-5S**   **DT-6S**   **DT-8S**



**DEFINITION** シリーズ 5.5"/6.5"/8.0" アク  
ティブ スタジオ モニターシステム



User manual

# 電源

## 使用前に

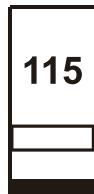
電圧セレクターをお住まいの国の要件に従って調整してください。この要件に細心の注意を払い、お住まいの国の電源電圧に最も近い設定を選択することが非常に重要です。

電圧スイッチには2つのオプションがあります。

**115V または 230。**



**VOLTAGE  
SELECTOR**



**VOLTAGE  
SELECTOR**

例えば、イギリスや中国では通常の電源電圧が240Vのため、230Vを選択してください。これは互換性があり、最も近い電圧です。

日本やアメリカでは通常の電源電圧がそれぞれ100Vおよび110Vのため、115Vのオプションを選択してください。これも互換性があり、最も近い電圧となります。

**ご使用の国に適した電圧が電源ユニットで選択されていることを確認することは、非常に重要です。**  
**正しい電圧を選択しないと、電源ユニットが故障または破損し、火災の危険性が生じる可能性があります。**

電源ユニットでお住まいの国に適した電圧を選択したら、必ず再度確認してください。

**DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムを接続する前に、次の手順をよくお読みください。**

1. DT-Sユニットの電圧セレクターがご使用の国に適していることを選択・再確認してください。
2. サウンドソース（音源機器）の電源がオフであることを確認し、音量がゼロまたは最小に設定されている状態で、DT-Sユニットをサウンドソースに接続してください。これにより、ポップノイズや突発的な電流の発生を最小限に抑えることができます。
3. DT-Sの電源ケーブルを家庭用電源に接続してください。
4. サウンドソースの電源を入れ（音量はゼロのまま）
5. DT-Sアクティブモニターの電源を入れ、音量をお好みのレベルに調整してください。

電源を切るとき：

必ず最初に DT-S アクティブモニターの電源を切り、その後に音源機器の電源を切ってください。



## 注意！

新しい機器を手に入れると、取扱説明書を最後まで読まずに電源を入れたくなるものです。しかし、上記の注意事項を必ずお読みいただき、電圧が正しく設定されていることをご確認ください！

特に、18 ページに記載されている仕様パラメータの詳細な説明をご参照ください。



VOLTAGE  
SELECTOR



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがつた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

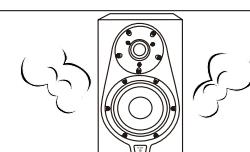
### 故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理を依頼する

変な音・  
においがしたら、  
煙が出たら



### 警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えることがあります。

注意を促す  
記号



行為を禁止  
する記号



行為を指示  
する記号



下記の注意事項を守らないと火災・感電により  
死亡や大けがの となります。

### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

# 目次

電源 .....	2
はじめに .....	6
パッケージ内容 .....	6
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください .....	7
特徴 .....	8
フロントパネルのレイアウト .....	10
リアパネルのレイアウト .....	11
DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムのセットアップ .....	12
DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムの接続 .....	14
仕様 .....	18
修理について .....	19

# はじめに

まずは、iCON Pro Audio Definition Series 5.5 インチ／6.5 インチ／8.0 インチアクティブ・スタジオ・モニター・システムをご購入いただき、誠におめでとうございます！

本書では、Definition Series 5.5 インチ／6.5 インチ／8.0 インチアクティブ・スタジオ・モニター・システムの特長、セットアップおよび使用方法の手順、さらに仕様一覧の詳細が記載されています。

製品は下記のリンクより当社のウェブサイトでご登録ください：

[www.iconproaudio.com/registration](http://www.iconproaudio.com/registration)

ほとんどの電子機器と同様に、本製品の元のパッケージは保管しておくことを強くお勧めします。万が一、修理のために製品を返送する必要が生じた場合には、元のパッケージ（またはそれに相当する適切な梱包）が必要となります。

適切な取り扱いと十分な通気性を確保することで、お使いの Definition Series 5.5"/6.5"/8.0" アクティブ・スタジオ・モニター・システムは、今後何年にもわたり問題なく動作し続けるでしょう。

本製品が長年にわたり優れたサービスを提供することを願っております。万が一、最高のパフォーマンスを発揮できない場合でも、問題の解決に向けてあらゆる努力を尽くします。

製品のシリアル番号を必ず控えておいてください。

## パッケージ内容

- DT-5S / DT-6S または DT-8S アクティブ・スタジオ・モニター・システム
- 電源ケーブル
- 「Vasorb™」 モニター用ラバーフット × 4 個



# お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

## 1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。.



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。  
「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

## 2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

## 3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

# 特徴



CON DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムは、スムーズで正確な音響特性を実現し、心地よいリスニング体験を提供します。

本製品の主な特長は以下のとおりです：

- コンパクトで高性能なアクティブ・スタジオ・モニター
- プロフェッショナルなクロスオーバー設計によるアクティブ 2 ウェイ・モニターシステム
- あらゆる録音・放送施設におけるニアフィールド・モニタリングに最適なソリューション
- ステレオおよびマルチチャンネル構成の両方に対応
- 実際の録音スタジオ環境におけるあらゆる要件を満たすよう、トップクラスの音
- 韻エンジニアによって調整済み
- iCON の「Vasorb™」モニター用ラバーフットが付属
- 低域および高域ドライバー用のバイアンプ内蔵パワーモジュール搭載
  - DT-5S：低域 (LF) に 80 ワット、高域 (HF) に 20 ワットの出力
  - DT-6S：低域 (LF) に 120 ワット、高域 (HF) に 20 ワットの出力
  - DT-8S：低域 (LF) に 150 ワット、高域 (HF) に 20 ワットの出力

## ミッドウーファー

- iCON カスタム設計の 5.5" / 6.5" / 8.0" ウーファー
- クリアでクリーン、かつ非常に開放的な再生を実現する Nomex® 強化ペーパーコーン
- 低損失の SBR エッジにより、低クリープで長期間の信頼性を確保  
プログレッシブ・スパイダーにより、極端な負荷でもソフトクリッピングと低歪みを実現
- 優れた低音再生のために高さを延長した重厚なデュアルフェライト磁気システム  
モーター歪みを実質的に排除するアルミ製ショートリングおよび銅キャップを磁気回路に採用

- 圧縮を排除するため、空気の流れを最適化した非常に開放的な構造の高剛性ダイキャスト・アルミニウム・シャーシ

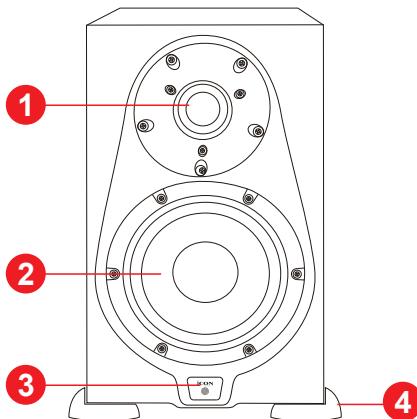
## ツイーター

- 高性能な 1 インチ・ドームツイーター
- 広い拡散特性を最適化した形状によるソフトファブリック製ドームおよびサラウンド
- 歪みを低減するための大型サラウンド
- 開放的でディテールに富んだサウンドを実現する、ロスの少ないフェロフルイド非使用マグネットシステム
- 高感度かつ低歪みを実現するヘビーフェライト製アンダーハング型デュアルマグネットシステム
- 低圧縮と低共振周波数を実現するために空気の流れを最適化した拡張型バックキャビティ
- 広い拡散特性を最適化した形状の堅牢なダイキャストアルミ製フロントプレート

## キャビネット

- 堅牢で非常に高剛性な設計
- 回折を最小限に抑えるスムーズなフロントバッフルデザイン
- 筐体からの振動や音の放射を排除するために拡張されたフロントバッフル寸法
- 長期間にわたり高性能な低音再生を可能にする高品質な吸音材を採用
- 高域・中域・低域の輪郭（コンツァー）コントロール機能搭載
- ハイパスフィルター：フラット、60Hz、80Hz の切り替えが可能

# フロントパネルのレイアウト



## 1. 1インチ・ソフトファブリック製ドームツイーター

ソフトファブリック製ドームとフェロフルイド非使用のマグネットシステムにより、滑らかな高域特性を実現し、開放的でディテールに富んだサウンドを提供します。

## 2. 低域ドライバー - ウーファー

クリアでクリーン、非常に開放的な再生を実現する、iCON カスタム設計の 5.5 インチ / 6.5 インチ / 8.0 インチ Nomex® 強化ペーパーコーンウーファー

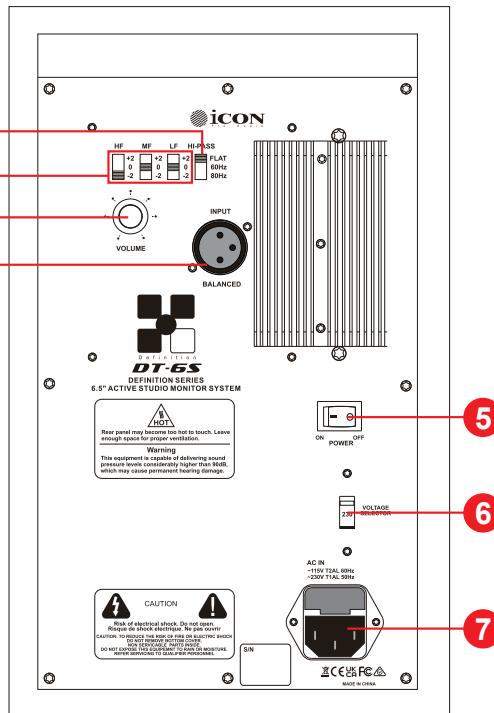
## 3. 電源 LED

オレンジ色の LED は、ユニットの電源がオンで、操作準備が整っていることを示します。

## 4. "Vasorb™" モニター用ラバーフット

iCON の大型ラバーフットは、音圧が高い状態でもキャビネットをしっかりと固定します。

# リアパネルのレイアウト



## 1. ハイ、ミッド、ロー・レンジ・コントロール

高域、中域、低域の3つの設定(-2dB, 0dB, +2dB)を調整でき、さまざまな音響環境に合わせたカスタマイズチューニングを可能にします。

## 2. ハイパスフィルター・コントロール

ハイパスフィルターをフラット、60Hz、80Hzに調整できます。

## 3. ボリューム・コントロール

出力レベルを調整します。

## 4. XLR バランス入力

標準XLRケーブルを使ってバランスの取れたラインレベル入力に接続します。配線情報については、13ページをご参照ください。

## 5. 電源スイッチ

ユニットの電源をオン/オフします。

## 6. 電圧セレクター

110V / 220Vの入力電圧を選択します。

## 7. AC 入力

供給されたIEC電源ケーブルを接続します。

# DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムのセットアップ

## DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムの背景

DT-S は、5.5 インチ / 6.5 インチ / 8.0 インチの Nomex® 強化ペーパーコーンウーファーと、1 インチのソフトファブリックドームツイーターを搭載したカスタムデザインのニアフィールドスタジオモニターです。低損失のフェロフレイド非使用的マグネットシステムを採用しています。モニターのクロスオーバーは、プロフェッショナルエンジニアによって高品質なコンポーネントで慎重に設計されており、リニアな周波数応答と位相応答を実現しています。

DT-S のエンクロージャーは MDF (中密度繊維板) で構成されており、チューンドペントポート (調整された通気口) を備えていて、低域の応答を延長し、低い乱流設計が特徴です。低域ドライバーは、全体のインピーダンスに最小限の影響で自由に動作します。

エンクロージャーの背面には XLR 入力コネクターがあり、これは DT-S の内部バイアンプパワーモジュールに接続され、ウーファーとツイーターに電力を供給します。また、プリアンプコントロール (ボリュームなど) もあり、内部パワーアンプの全体的なレベルを調整できます。さらに、革新的なハイ、ミッドレンジ、ローのプレゼンスコントロールが搭載されています。これらのコントロールにより、ミックスエンジニアはモニターの高域、中域、低域の応答を調整できます。従来のハイファイサウンドからフラットな音、さらに攻撃的な高域、中域、低域の応答を持つサウンドに調整可能です。

DT-S は、フラットで正確なモニタリングを提供するように設計されていると同時に、他の人気のあるニアフィールドモニターの音を簡単にエミュレートできる調整可能な応答曲線を提供します

## DT-S モニターの配置

ニアフィールドモニタリングは、部屋の音響の影響を最小限に抑えるため、多くのエンジニアに選ばれています。リファレンスマニターをニアフィールド (リスナーに近い位置) に配置することで、部屋の音響効果を大幅に減らすことができます。

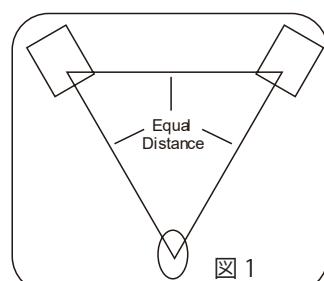


図 1

部屋の音響効果を評価する際の最も重要な要素は、モニタリングエリアの周囲にある反射面です。これには、平らなテーブルトップ、ガラスの鏡、額縁に入った絵、広い壁面、さらにはミキシングコンソールの表面などがあります。反射された音は最終的にリスニングポジションに到達しますが、直接音源から遅れて届くため、一部の周波数がランダムにキャンセルされたり、コームフィルタリングが発生します。可能であれば、反射面を取り除くか、少なくとも一部を除去してください。また、モニターに近い壁に音響フォームを取り付けることを検討するのも良いでしょう。

モニターの配置時には、一般的に「ミキシング・トライアングル」として知られる理想的な配置を作ることを目指してください。この理想的な配置では、左右のモニター間の距離が、リスナーから各モニターまでの距離と等しく、正三角形を形成します (図 1 参照)

## スピーカーの向き

DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムは、縦置きでも横置きでも使用可能です。横置きで使用する場合は、ツイーターが左右それぞれの外側に配置されるようにしてください（図2参照）。これにより、低域ドライバー同士の結合が強まり、ステレオイメージと低音の再現性が向上します。

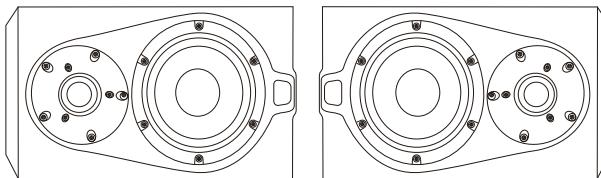
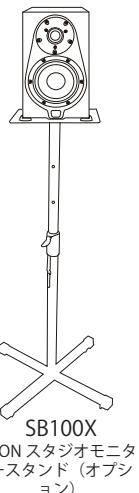


図2



## 反射について

モニターシステムの高さを選ぶ際には、ミキシングコンソールの表面からの反射を最小限に抑えるよう注意してください（図3参照）。こうした反射音は、元の音に対してわずかに遅れてリスニングポイントに届くため、不自然な音のキャンセルや予測不能な周波数応答の原因になります。モニターから放射される音のビームを直線としてイメージし、それらの反射が最終的にリスニングポイントに届かないような高さを選んでください（図4参照）。

多くの場合、理想的なスピーカーの位置は、ミキシングコンソールのメーターブリッジの少し後方かつ上方に配置することです。

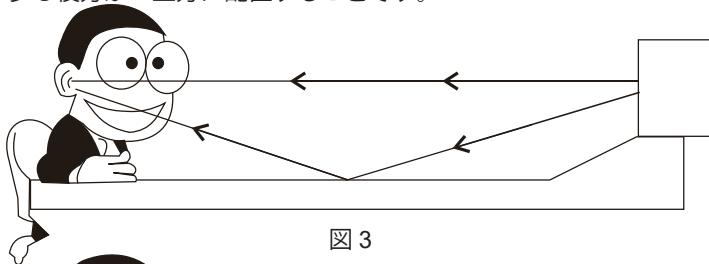


図3

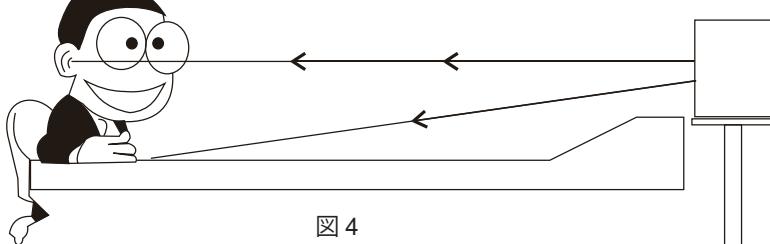


図4

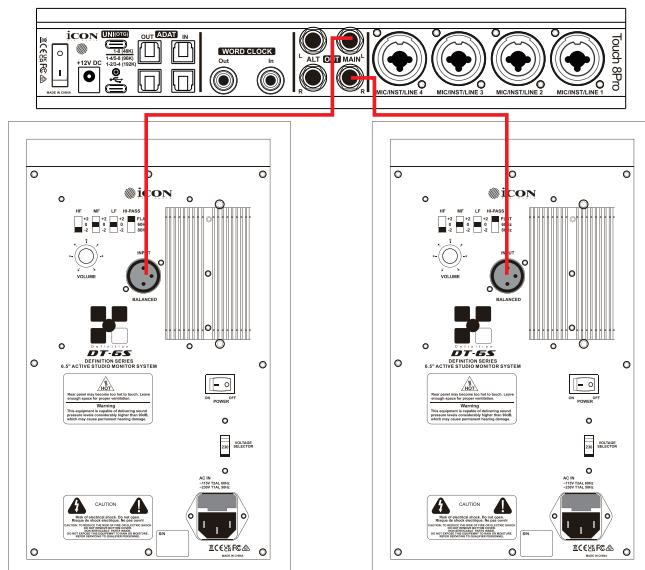
# DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムの接続

## DT-S クイック接続

**注：**接続する前に、パワーアンプ（およびパワードモニター）の「最後にオン、最初にオフ」のルールを覚えておいてください。システムの電源を入れる際は、すべてのケーブルが接続されていることを確認してください。まずミキサーとその他のアウトボード機器の電源を入れ、最後にDT-Sモニターモニターの電源を入れてください。電源を切る際は、最初にDT-Sモニターシステムをオフにし、次にミキサーとアウトボード機器をオフにします。

DT-Sモニターシステムは、リアパネルのバランス入力を使用して接続します。  
+4dBu レベルのXLR バランス入力を使用してください。

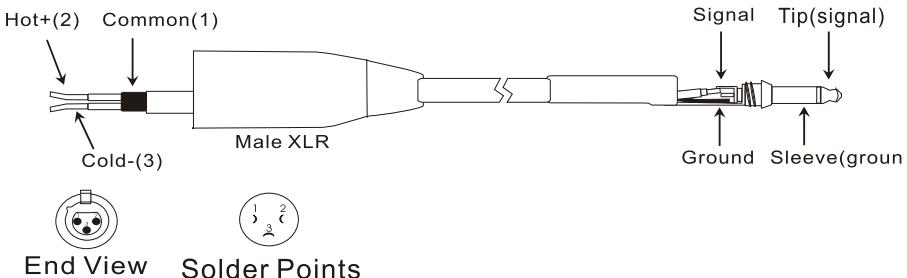
以下の図に示された手順に従って、標準的な録音コンソールのコントロールルーム出力や、オーディオインターフェイス（iCONのTouch 8 Proなど）のライン出力を使用して、簡単に接続できます。



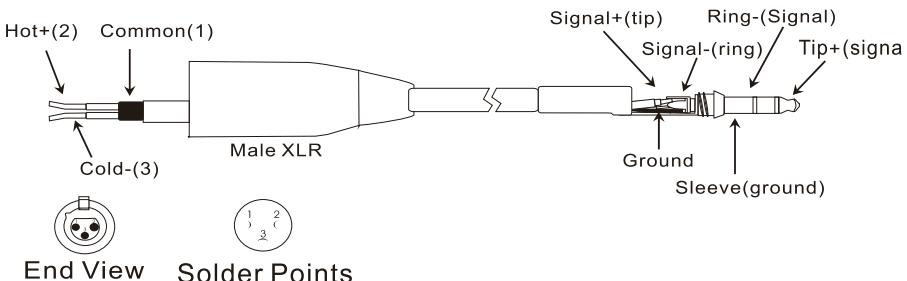
- ミキサーのマスター出力をできるだけ下げてください。
- ミキサーの左側のコントロールルーム出力を左側のDT-Sのバランス入力に、右側のコントロールルーム出力を右側のDT-Sのバランス入力に接続します。
- DT-Sの入力ボリュームコントロールを2時の位置に設定します。
- ミキサーを通してオーディオ信号（例えばCDからの音楽など）を再生し、コントロールルームのレベルを快適なリスニングレベルに調整します。

## ケーピング

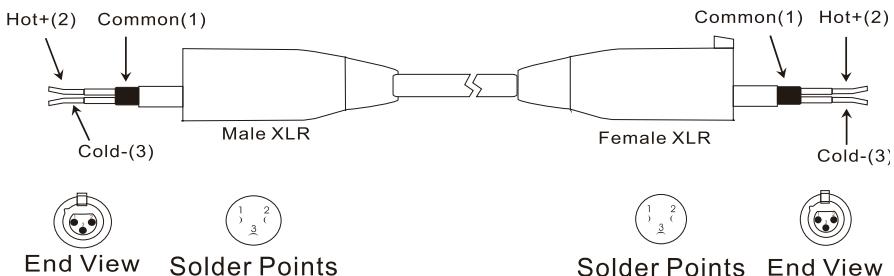
### アンバランス 1/4 インチ (6.35mm) TS コネクタ - XLR



### バランス型 1/4 インチ (6.35mm) TRS コネクタ - XLR



### バランス型女性 XLR - 男性 XLR コネクタ



## DT-S コントロールおよびコネクターパネル

DT-Sのリアパネルは、AC電源とオーディオ信号の接続を行う場所です。リアパネルには、全体の音量と周波数応答曲線を調整するためのコントロールも含まれています。以下のセクションでは、リアパネルのコントロールと接続について詳細に説明します。

## DT-S アクティブ・スタジオ・モニター・システムの電源の入れ方

DT-Sはオンボードパワー・アンプを備えたアクティブ・スタジオ・モニターですので、AC電源に接続してください。メインの電源スイッチがオフの位置に設定されていることを確認し、供給されたIEC電源ケーブルをAC入力端子に接続します。

### ハム音の原因

電源ケーブルを配置する際、AC電源コードやAC延長コードを入力ケーブルと並行して配置しないように注意してください。これにより、拾われるACハムノイズを減少させることができます。もし交差させる必要がある場合は、90度の角度で交差させることで、誘導されたハムノイズを最小限に抑えられます。DT-Sのバランス入力コネクタを使用すると、バランス入力回路によるコモンモード除去により、誘導されたハムノイズを大幅に防ぐことができます（誘導されたハムノイズは位相キャンセルされます）。

### 1. 電源スイッチ

ユニットの電源をオン/オフします。

### 2. AC入力端子

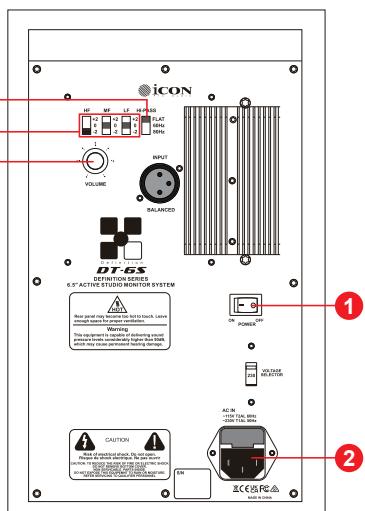
供給されたIEC電源ケーブルをここに接続します。

### 3. ハイパスフィルター・コントロール

ハイパスフィルターをフラット、60Hz、80Hzに調整します。

### 4. LF、MF、HFコントロール

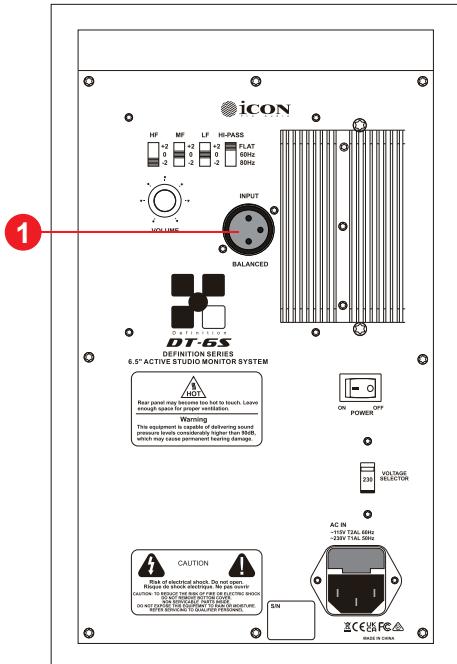
DT-Sのリアパネルには、モニターの低音、中音、高音を調整するための3つの重要なコントロールがあります。これらのコントロールをお好みの設定に調整してください。他のスタジオにモニターを持って行く場合、このコントロールは新しい部屋に合わせて音を調整する際に非常に役立ちます。



## 5. ボリューム・コントロール

ボリューム・コントロールは、DT-S モニターシステムの全体的な出力レベルを調整するために使用します。ユニットを初めて使用する際は、ボリュームを最低に設定してください。その後、快適なリスニングレベルに達するまで、ボリュームを少しづつ上げてください。

### リアパネル：入力と出力



DT-S は、録音コンソール、ハードディスクレコーダー、CD プレーヤー、コンピューター オーディオ インターフェイスなど、さまざまなオーディオ機器に接続できるバランス入力コネクタを備えています。

### 1. バランス型 XLR オーディオ入力

DT-S は、バランスまたはアンバランスの +4dBm ラインレベル信号を受け入れる女性 XLR コネクタを備えています。もし、XLR コネクタにバランス出力があるミキサーを使用している場合、標準的な XLR ケーブルを使用して接続できます。アンバランス接続の配線については、13 ページ（ケービング）の説明をご参照ください。

# 仕様

## DT-5S

System	Two-way active nearfield monitor
Frequency Response (+/-3dB)	45Hz - 25kHz
Max SPL 1.2 m, pair in listening room (IEC Short Term)	113dB peak
Bass Principle	Bass reflex
Tuning Frequency	50Hz
Tweeter	1" wide dispersion soft dome
Woofers	5.5" Nomex paper cone
Magnetically shielded/ compensated	Shielded and Compensated
Cross over frequency	2.8kHz
Cross over slope	24dB/oct (LP and HP)
Input level for 100 dB SPL @ 500-2000 Hz avg @ 1 m	0dBu RMS @ 0 dB level setting Balanced XLR
Input connector	User settings (on the rear panel)

Power	2pos switch (On/Off)
Input sensitivity	Analog Potentiometer
High Pass Control	3pos switch (Flat / 60Hz / 80Hz)
Bass control	3pos switch (-2dB / 0dB / +2dB)
Midrange control	3pos switch (-2dB / 0dB / +2dB)
Treble control	3pos switch (-2dB / 0dB / +2dB)
Power consumption	Idle: 15W / Max: 180W
Amplifier power	Tweeter: 20W / Woofer: 80W
Weight	7.8kg
Dimensions (WxHxD)	285 x 182 x 304 mm

## DT-6S

System	Two-way active nearfield monitor
Frequency Response (+/-3dB)	40Hz - 25kHz
Max SPL 1.2 m, pair in listening room (IEC Short Term)	116dB peak
Bass Principle	Bass reflex
Tuning Frequency	45Hz
Tweeter	1" wide dispersion soft dome
Woofers	6.5" Nomex paper cone
Magnetically shielded/ compensated	Shielded and Compensated
Cross over frequency	2.5kHz
Cross over slope	24dB/oct (LP and HP)
Input level for 100 dB SPL @ 500-2000 Hz avg @ 1 m	0dBu RMS @ 0 dB level setting Balanced XLR

System	Two-way active nearfield monitor
Frequency Response (+/-3dB)	35Hz - 25kHz
Max SPL 1.2 m, pair in listening room (IEC Short Term)	120dB peak
Bass Principle	Bass reflex
Tuning Frequency	40Hz
Tweeter	1" wide dispersion soft dome
Woofers	8" Nomex paper cone
Magnetically shielded/ compensated	Shielded and Compensated
Cross over frequency	2.2kHz
Cross over slope	24dB/oct (LP and HP)
Input level for 100 dB SPL @ 500-2000 Hz avg @ 1 m	0dBu RMS @ 0 dB level setting Balanced XLR

System	Two-way active nearfield monitor
Frequency Response (+/-3dB)	35Hz - 25kHz
Max SPL 1.2 m, pair in listening room (IEC Short Term)	120dB peak
Bass Principle	Bass reflex
Tuning Frequency	40Hz
Tweeter	1" wide dispersion soft dome
Woofers	8" Nomex paper cone
Magnetically shielded/ compensated	Shielded and Compensated
Cross over frequency	2.2kHz
Cross over slope	24dB/oct (LP and HP)
Input level for 100 dB SPL @ 500-2000 Hz avg @ 1 m	0dBu RMS @ 0 dB level setting Balanced XLR

## DT-8S

System	Two-way active nearfield monitor
Frequency Response (+/-3dB)	45Hz - 25kHz
Max SPL 1.2 m, pair in listening room (IEC Short Term)	113dB peak
Bass Principle	Bass reflex
Tuning Frequency	50Hz
Tweeter	1" wide dispersion soft dome
Woofers	5.5" Nomex paper cone
Magnetically shielded/ compensated	Shielded and Compensated
Cross over frequency	2.8kHz
Cross over slope	24dB/oct (LP and HP)
Input level for 100 dB SPL @ 500-2000 Hz avg @ 1 m	0dBu RMS @ 0 dB level setting Balanced XLR

System	Two-way active nearfield monitor
Frequency Response (+/-3dB)	35Hz - 25kHz
Max SPL 1.2 m, pair in listening room (IEC Short Term)	120dB peak
Bass Principle	Bass reflex
Tuning Frequency	40Hz
Tweeter	1" wide dispersion soft dome
Woofers	8" Nomex paper cone
Magnetically shielded/ compensated	Shielded and Compensated
Cross over frequency	2.2kHz
Cross over slope	24dB/oct (LP and HP)
Input level for 100 dB SPL @ 500-2000 Hz avg @ 1 m	0dBu RMS @ 0 dB level setting Balanced XLR

## DT-8S

# 修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)

2. ダウンロード

3. 詳細情報

4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動力カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題を限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

北米 にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**North America**

**Mixware, LLC – U.S. Distributor**

**3086 W. POST RD.**

**LAS VEGAS NV 89118**

**Tel.: (818) 578 4030**

**Contact: [www.mixware.net/help](http://www.mixware.net/help)**

ヨーロッパにお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**Sound Service**

**GmbHEuropean**

**HeadquarterMoriz-Seeler-Straße**

**3D-12489 Berlin**

**Telephone: +49 (0)30 707 130-0**

**Fax: +49 (0)30 707 130-189**

**E-Mail: [info@sound-service.eu](mailto:info@sound-service.eu)**

香港にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**ICON (Asia) Corp:**

**Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,**

**No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street,**

**Fotan,**

**Sha Tin, N.T., Hong Kong.**

**Tel: (852) 2398 2286**

**Fax: (852) 2789 3947**

**Email: [info.asia@icon-global.com](mailto:info.asia@icon-global.com)**

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト ([www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)) をご覧ください。



中国地区用户

Twitter



[www.twitter.com/iconproaudio](http://www.twitter.com/iconproaudio)

Instagram



[www.instagram.com/iconproaudio](http://www.instagram.com/iconproaudio)

Facebook



[www.facebook.com/iconproaudio](http://www.facebook.com/iconproaudio)

Youtube



[www.youtube.com/iconproaudio](http://www.youtube.com/iconproaudio)

Website



[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

Support



[support.iconproaudio.com](http://support.iconproaudio.com)

Dashboard



[iconproaudio.com/dashboard/](http://iconproaudio.com/dashboard/)

[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)